



第4回 JAPANコンストラクション国際賞

2021

建設プロジェクト部門 (最優秀賞)

ポートモレスビー下水道整備事業 パプアニューギニア 大日本土木(株)

- ▶ 太平洋島嶼国で初となる本格的な大型下水処理施設と下水配管網を整備。
- ▶ 深刻化していた海洋環境の汚染と地域住民の水系疾病罹患を改善。



建設プロジェクト部門

五十音順(プロジェクト名)

アラハバード・サロリ下水処理場 及び関連施設設計・建設・運転維持管理 インド 東芝インフラシステムズ(株)

- ▶ 国家プロジェクトであるガンジス川浄化計画の中心をなす下水道整備に取り組み深刻な水問題の改善に寄与。
- ▶ 日印双方の技術者の協力でインフラを完成。現地政府からも評価され継続的なプロジェクト参画への礎に。



国立伝染病センター新築工事 シンガポール

鹿島建設(株)

- ▶ BIMをフル活用した設計施工や関係者と一体になった安全管理等により、シンガポール政府等から複数の賞を受賞。
- ▶ 日本企業の知恵を活かした設計変更が、工期短縮や迅速な新型コロナウイルス感染症対応に貢献。



ジャカルタ都市高速鉄道南北線フェーズ1 インドネシア (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル(OCG)、日本コンサルタンツ(株)、 東急建設(株)、(株)大林組、清水建設(株)、三井住友建設(株)

- ▶ オールジャパンの取組によりマスタープランから運営面の技術移転まで、全工区で日本の優れた技術やノウハウを活用したインドネシアで初めての地下鉄建設事業。
- ▶ ジャカルタ首都圏の渋滞を緩和し、同国の経済発展に大きく貢献。



第1・第2ボスポラス橋 大規模修繕プロジェクト トルコ (株)IHIインフラシステム

- ▶ ボスポラス海峡に架かる第1ボスポラス橋(1973年完成、英企業施工)と第2橋(1988年、応募者施工)の老朽化に対応する大規模修繕工事。
- ▶ 世界初の試みとなる難易度の高い技術を用いて、最小限の交通規制とコストで実現。



野口記念医学研究所 先端感染症研究センター ガーナ 清水建設(株)

- ▶ 野口英世博士ゆかりの地における最先端の研究施設を有した医学研究所の建設プロジェクト。
- ▶ コロナ禍においても西アフリカ地域の感染症対策の中心的な存在として社会貢献。



日本料理店「YAMASEN」を中心とした複合施設 Tank Hill Park 建築プロジェクト ウガンダ (株)テレイン一級建築士事務所、Cots Cots Ltd.

- ▶ ウガンダで初めて、日本企業が建設から運営までの全てを民間資金により行ったプロジェクト。限られた資金の中で、日本の木造建築技術と現地の資材・人材を活用し、人々に愛される商業施設を完成。



中堅・中小建設企業部門

五十音順(企業名)

(株)高知丸高

- ▶ 大口径岩盤削孔を中心に特許工法を保有。難易度の高い橋梁架設を、SqCピア工法等の独自技術を用いて、パキスタンの急峻な山岳地域等で実施。
- ▶ 独自開発の水陸両用掘削機等を用いた浚渫工事による河川衛生環境改善等も実施。



(株)菅原工業

- ▶ リサイクルアスファルトを中心とした路面に付加価値を与える多機能舗装による事業をインドネシアに展開。
- ▶ 同国から技能実習生を受け入れ、帰国後は現地で雇い、人材と産業を循環。

